



研究所だより

那覇市立教育研究所

那覇市金城3-5-3

Tel 891-3441 Fax 857-8681

naha-c@naha-c.nahaken-okn.ed.jp

所長 田中 浩三



まず、「デジタル教科書」が導入されて一年余が経過した小学校での活用率をみると（導入間もない中学校は省く）、「活用している」が54%で、「ほとんど活用していない」が46%と半々に分かれた状態である。しかも「活用している」の中の31%が「週三回以上」と答えているのに対し、活用が「ほとんどなし」が23%となっている。これらの状況から、「デジタル教科書活用における二極化が進んでいることが読み取れる。

次に「電子黒板」については、小四校、中二校とわずかしか導入されていない。しかし小学校では、「週三回以上」の活用が実際に67%に達している。これは電子黒板が、使い方がわかると効果を発揮する機器であり、今後大いに活用が期待できる機器であることを示している。

以上、那覇市内教員のアンケート結果からICT機器の活用状況について述べてみた。それでは、ICTを活用した授業に対する見方はどうであろうか。ICT活用に対する次の三観点について結果を述べてみたい。

一つ目の「興味関心を高める」としては98%小中平均値、二つ目の「わかりやすく説明できる」に対しては97%、三つ目の「時間短縮に役立つ」に対しては87%の教員が全て肯定的と捉えている。つまり、教科書の該当箇所をスームアップしたり、瞬時に絵や図を映し出したりして指導することの効果やよさについて、ほとんどの教員がよく理解していることがわかる。このようないい意識をICT活用の実践などのように結びつけていくかが今後の課題のように思える。

最後に、「今後希望する研修・講座」についての回答をみると「ICT活用授業の進め方」「電子黒板の活用法」「デジタル教科書の活用法」「周辺機器の活用法」の順に希望が多い。これらの希望している研修に對しては全て、当教育研究所に對する課題だと受け止めている。ICT活用を促進するには、「研修の充実」に加え「機器の充実」も避けて通れない課題である。これら二つの課題に對しては、本アンケート結果を踏まえ、解決に向けて努力していく所存である。

まず、「デジタル教科書」が導入されて一年余が経過した小学校での活用率をみると（導入間もない中学校は省く）、「活用している」が54%で、「ほとんど活用していない」が46%と半々に分かれた状態である。しかも「活用している」の中の31%が「週三回以上」と答えているのに対し、活用が「ほとんどなし」が23%となっている。これらの状況から、「デジタル教科書活用における二極化が進んでいることが読み取れる。

次に「電子黒板」については、小四校、中二校とわずかしか導入されていない。しかし小学校では、「週三回以上」の活用が実際に67%に達している。これは電子黒板が、使い方がわかると効果を発揮する機器であり、今後大いに活用が期待できる機器であることを示している。

以上、那覇市内教員のアンケート結果からICT機器の活用状況について述べてみた。それでは、ICTを活用した授業に対する見方はどうであろうか。ICT活用に対する次の三観点について結果を述べてみたい。

一つ目の「興味関心を高める」としては98%小中平均値、二つ目の「わかりやすく説明できる」に対しては97%、三つ目の「時間短縮に役立つ」に対しては87%の教員が全て肯定的と捉えている。つまり、教科書の該当箇所をスームアップしたり、瞬時に絵や図を映し出したりして指導することの効果やよさについて、ほとんどの教員がよく理解していることがわかる。このようないい意識をICT活用の実践などのように結びつけていくかが今後の課題のように思える。

最後に、「今後希望する研修・講座」についての回答をみると「ICT活用授業の進め方」「電子黒板の活用法」「デジタル教科書の活用法」「周辺機器の活用法」の順に希望が多い。これらの希望している研修に對しては全て、当教育研究所に對する課題だと受け止めている。ICT活用を促進するには、「研修の充実」に加え「機器の充実」も避けて通れない課題である。これら二つの課題に對しては、本アンケート結果を踏まえ、解決に向けて努力していく所存である。

次年度教育研究員 募集中！

●「教育研究員の実践的研究・研修を行い、教員の資質の向上を図り本市学校教育の充実に資する」ことを趣旨として、平成25年度教育研究員の募集が始まりました。平成25年3月末現在、那覇市立幼稚園・小・中学校の職員で、教職経験3年以上の先生方が応募できます。

第99期 研究員 中間検討会 | 11/15(木), 16(金)

第99期研究員の「中間検討会Ⅰ」が行われました。



私の研究テーマは「書くこと」ですが、報告書を書くにあたり自分自身が苦しんでおり、改めて書くことは難しいと感じています。しかし、学ぶことも多くあります。自分の求めていることが形になり、また、報告書を読んだ方にも、伝えられたらいいなと思います。そのためには、しっかり見直しをしていきたいと思います。

所長からは、「ただワークシートをやれば生徒に自己肯定感がつくわけではない。ワークシートにどのような仕掛けをするのかが大切」という貴重な助言を頂いた。また、自作資料に多くの質疑を頂きそれについて説明していく中で、自分の中であやふやだった考えが固まった気がする。先生方の助言を参考にして、理論をもとにした指導案作りを頑張っていきたいと思う。



先生方の質問に答えていると、頭の中で混乱している考え方や思いが、少しずつ整理されていくのを感じた。なかなか思うように進まない研究に、まとめる能力や活用の仕方が、今ひとつ劣るのではないかと落ち込み反省点ばかりが挙げられるが、自分を高める良い機会だと捉え、試行錯誤しながらも努力していきたいと思う。

テーマを「資料活用能力を高め自ら考えを深める社会科学習」に改め、サブテーマも「ワークナビの活用とワークシートを工夫した話し合い活動を通して」に変更することにしました。その他の項目も見直す必要があると思います。的確なアドバイスがあったのでそれを参考に研究内容を修正していきたいです。



第1回 コンビニ国語講座

11月14,15日の17:30から研究所の2階会議室において「第1回 コンビニ国語講座」が開催されました。今回は「学び合い」を体験しながら「『言葉を立てる』朗誦」という内容でした。合計29名の小中学校の先生方が参加されました。

発声はリラックスというのが一番印象的でした。つい子どもに気張らせて音読をさせていたなと反省しました。「言葉を立てる」、少しの工夫、読み方の違いで、あんなにも、聞いている印象が変わってくるんだと驚きました。



ペアになってお互いの朗誦を聞き合るのは、選ぶ場所も立てる方法も違っていておもしろかった。読む人の言葉の立て方次第で文に味がついたというか広がりを感じることができた。次回も楽しみです。

コンビニ国語講座 受講者募集中！

第二回目は12月19日(木)17:45からです。次回の講座内容は「会話と地の文」です。申し込みはメール、電話、faxにて受け付けています。詳しくは那覇市立教育研究所ホームページまたはDesknet'sで。気軽にご連絡ください。

お勧め月刊誌

『初等教育資料』 東洋館出版社

初等教育の充実を図るために資料として、文部科学省教育課程課及び幼児教育課で刊行している教育月刊誌。各特集は、論説や指導事例、座談会などによって、幅広い視点から特集テーマを深く掘り下げ、新しい教育の実践、研究に役立てるよう構成しています。



図書室にて
貸し出しています♪

続・「ICT活用アンケート」結果から

所長 田中 浩三

教員による関心度の高いICT機器として、「パソコン」の他に「デジタル教科書」や「電子黒板」であることを前号で述べた。では実際

に「デジタル教科書」や「電子黒板」が導入されている市内各学

校での活用状況はどうだろうか。

まず、「デジタル教科書」が導入されて一年余が経過した小

学校での活用率をみると（導入間もない中学校は省く）、「活用して

いる」が54%で、「ほとんど活用していない」が46%と半々に分

かれた状態である。しかも「活用している」の中の31%が「週

三回以上」と答えているのに対し、活用が「ほとんどなし」が23%

となっている。これらの状況から、「デジタル教科書活用における

二極化が進んでいることが読み取れる。

次に「電子黒板」については、小四校、中二校とわずかしか導

入されていない。しかし小学校では、「週三回以上」の活用が実

に67%に達している。これは電子黒板が、使い方がわかると効

果を発揮する機器であり、今後大いに活用が期待できる機器であ

ることを示している。

以上、那覇市内教員のアンケート結果からICT機器の活用状

況について述べてみた。それでは、ICTを活用した授業に対する

見方はどうであろうか。ICT活用に対する次の三観点について

結果を述べてみたい。

一つ目の「興味関心を高める」としては98%小中平均

値、二つ目の「わかりやすく説明できる」に対しては97%、三

つ目の「時間短縮に役立つ」に対しては87%の教員が全て肯定的

と捉えている。つまり、教科書の該当箇所をスームアップしたり、瞬時に絵や図を映し出したりして指導することの効果やよさに

ついて、ほとんどの教員がよく理解していることがわかる。この

ようないい意識をICT活用の実践などのように結びつけてい

くかが今後の課題のように思える。

最後に、「今後希望する研修・講座」についての回答をみると

「ICT活用授業の進め方」「電子黒板の活用法」「デジタル教

科書の活用法」「周辺機器の活用法」の順に希望が多い。

これらの希望している研修に對しては全て、当教育研究所に對する課題だ

と受け止めている。ICT活用を促進するには、「研修の充実」

に加え「機器の充実」も避けて通れない課題である。これら二つ

の課題に對しては、本アンケート結果を踏まえ、解決に向けて努

めしていく所存である。